

質問回答

平成 26 年 6 月 9 日

「民間セクター分野におけるジェンダー主流化調査」

(公告日:平成 26 年 5 月 28 日 / 番号: 140362) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	<p>第 2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務内容 (5) 招聘事業</p> <p>1) 招聘準備</p> <p>2) 受入業務</p> <p>3) 招聘管理 (P14~15)</p> <p>に係る業務内容について</p>	<p>【招聘プログラムに係る経費計上費目・範囲について】</p> <p>左記業務内容に併せて【コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン】に記載されている費目のみの計上となるのか、それとも、</p> <p>招聘者渡航滞在に係る一切の経費(航空賃、エクセス料金、宿泊日当費、海外旅行保険料、空港送迎等)研修実施に係る一切の経費(講師謝金・日当、運搬費、消耗品費及び会議費等)を見積計上するかをご教示ください。</p> <p>また、航空賃の経路、日当宿泊費を含める場合の招聘者格付をご教示ください。</p>	<p>後者(一切の経費を計上)です。</p> <p>招聘者は「局長・課長級の官僚」相当となりますので、JICA の招聘運用基準に基づき以下の基準を使用願います。</p> <p>航空賃 ビジネス(正規割引運賃)</p> <p>宿泊費 15,100 円(上限額、支払いは実費)</p> <p>食事代および雑費 10,000 円/日</p> <p>経路は往復とも順路直行最短日程を基本としてください。</p>
2	<p>第 2 業務の実施方針</p> <p>5. 実施方針及び留意事項</p>	<p>【渡航人数について】</p> <p>「セネガルへの渡航を基準として4回分の渡航の見積もりを行うこと」とあるが、1) セネガルへの往復航空賃×4回分×1名の見積を計上するという理解でよいか、2) セネガルへの往復航空賃×4回分×2名の見積計上は可能か、ご教示ください。</p>	<p>1) の理解で結構です。2) のとおり2名分の見積もりを計上していただくことも可能ですが、その場合には他の項目等でどのような節約ができるか提案をお願いします。</p>

3	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>5. 実施方針及び留意事項</p> <p>(3) ジェンダー主流化調査について</p>	<p>5 行目に「同分野の既存案件における～ジェンダーの視点に立ったインパクトの発現状況について、文献及び本部案件担当者、専門家などからの聞き取り等をもとに調査をおこなう」とあります。既存案件とは完了案件を指すと捉えてよいでしょうか。またインパクトの発現状況を記した文献としてどのようなものが貸与されるのか代表的なものを教えてください。</p>	<p>既存案件は、完了案件に加え実施中案件も含まれます。インパクトの発現状況を記した文献としては専門家業務実施報告書、プロジェクトの各種進捗報告書等報告資料などを想定しています。</p>
4	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>5. 実施方針及び留意事項</p> <p>(3) ジェンダー主流化調査について</p> <p>6. 業務の内容</p> <p>(6)1)(ア)</p> <p>(6)2)(ア)</p>	<p>「JICA 経済基盤開発部が指定する『重点モニタリング案件』」、「JICA が提供する民間セクター開発分野の候補案件リスト」、「JICA が提供するジェンダー視点が入った民間セクター開発分野の案件リスト」について、それぞれの案件総数を教えてください。</p>	<p>重点モニタリング案件・・・6件、民間セクター開発分野の候補案件リスト・・・20件程度、「JICA が提供するジェンダー視点が入った民間セクター開発分野の案件リスト」・・・5～10事業</p>
5	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の内容</p> <p>(1)4)</p> <p>(4)3)</p>	<p>「日本における女性企業家支援の現状調査」はインターネットや文献をもとにした調査及び国内出張をともなう聞き取り調査などを想定していると捉えてよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりです。関係行政機関、経済団体でのヒアリングに加え、招聘受け入れ想定先への事前調査も可能とします。旅費の計上も可能とします。</p>
6	<p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>6. 業務の内容</p> <p>(6)2)(エ)</p>	<p>3行目「各分野課題1～2件程度選択し、」の各分野課題とは、中小零細企業振興、貿易・投資促進、地場産業振興の3分野と捉えてよいでしょうか。</p>	<p>中小零細企業振興、貿易・投資促進、地場産業振興の3分野です。</p>

7	見積もりについて	招聘者は準高官レベルの方を選定予定でしょうか。	準高級レベルです。
8	見積もりについて	日当、宿泊費、航空券の支払金額根拠として「本邦研修の手引き」もしくは「国内研修の手引き」のどちらを参照すればよろしいでしょうか。	日当、宿泊費、航空券の支払い金額については招聘事業の運用基準に基づき、以下を基準にしてください。 航空賃 ビジネス(正規割引運賃) 宿泊費 15,100 円(上限額、支払いは実費) 食事代および雑費 10,000 円/日
9	別見積もりについて	招聘者 14 名分の航空券と、現地調査用の航空券の両方を別見積りとして宜しいでしょうか。	両方を別見積りとしてください。
10	6.(1) 4)および(4)3)日本における女性企業家支援の現状調査	国内の女性企業家に強い地域への事前調査出張は想定されておりますでしょうか。また、その旅費を見積りとして計上することは可能でしょうか。	招聘受け入れ想定先への事前調査は可能とします。旅費の計上も可能とします。
11	6 .(5)招聘事業, 2) 受け入れ業務,a)・航空券手配	航空券手配の見積作成にあたり、招聘する国については既に想定されておりますでしょうか。	現地調査と同様、すべてセネガルを基準に見積もりください。
12	6 .(5)招聘事業, 1)招聘準備, f) 招聘者用資料作成(フランス語)	招聘者用資料はフランス語となっておりますが、一部の参照資料として英語資料を利用してもよろしいでしょうか。	基本的に招聘者が招聘期間中の講義等で主に用いられる配布資料は仏語訳とします。更なる理解促進のための参照資料等については英語でやむを得ないと考えています。

以上